

第 7 回高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議 知事メッセージ
(令和 7 年 1 月 31 日)

盛岡市の養鶏農場で発生した高病原性鳥インフルエンザの 4 事例目及び 5 事例目については、すでに殺処分が完了し、本日中には、埋却・農場の 1 回目の消毒作業を終える予定です。

県内では、年明けから 3 事例が立て続けに発生し、今回は、過去最大規模となる約 66 万羽を対象とする防疫措置を実施することとなりました。

このような深刻な事態に対応するため、国、他道府県、岩手県建設業協会や岩手県バス協会などの関係団体、企業、そして陸上自衛隊岩手駐屯地の皆様に御協力をいただきました。さらに、過去に経験のない事態に迅速に対応するため、県内全市町村、委託企業にも防疫作業に従事いただくなど、これまでに例のない取組も行いました。

長期にわたる作業で心身の疲労が蓄積する中、昼夜を問わず防疫作業に対応いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。

県では、盛岡地域をはじめ、県内全ての農場の緊急消毒など、高病原性鳥インフルエンザのまん延防止強化対策を県内全域で実施しているところです。これ以上の発生防止やまん延防止に万全を期してまいります。

県内の養鶏農場の皆様には、これまでもお願いしている飼養衛生管理や異状が確認された場合の早期通報等の更なる徹底をお願いいたします。

県民の皆様には、鳥インフルエンザウイルスが他の地域に拡散することを避けるため、引き続き、野鳥への餌付けの自粛や、野鳥に近づきすぎないようにするなどの対応をお願いいたします。

最後になりますが、高病原性鳥インフルエンザに対する警戒を緩めることなく、これまで以上に緊張感をもって、対応していきましょう。